

第2回定例会

・審議した議案②

第2回定例会

・審議した議案①

第2回定例会が6月20日から21日の間で開催され、議案13件、同意1件、承認1件、報告2件、意見案1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

エネルギー価格高騰に伴う非課税世帯等への支援給付金 環境保全教育として太陽光発電システム整備費を補正

審議した議案

予算

■令和5年度一般会計補正予算(第4号)
8624万円が追加され、予算の総額が60億883万円になりました。

【主な歳入】
・ふるさとまちづくり振興事業費補助金 100万円
・電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 2430万円
・麦・大豆生産技術向上事業補助金 693万円
・産地生産基盤パワーアップ事業補助金 823万円
・牧野利用委託料 ▲781万円

【主な歳入】
・学校保健特別対策事業費補助金 180万円
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2490万円
・麦・大豆生産技術向上事業補助金 693万円
・産地生産基盤パワーアップ事業補助金 823万円
・財政調整基金繰入金 2337万円
・ふるさとまちづくり振興基金繰入金 100万円
・ふるさと応援事業基金繰入金 2000万円

【主な歳入】
・簡易水道事業会計補助金 645万円
・公共下水道事業会計補助金 391万円
・国際最低課税額に対する法人税の導入を行うほか、自動車税等に係る環境性能割等の見直しを行い、租税特別措置については適切な適用期限を設ける措置を講ずることとなり、令和5年7月1日から施行される所要の規定の整備を行い、また、令和6年度から課税が開始される森林環境税の賦課徴収等について定める規定の整備等を行うため、税条例を改正するものです。

議案質疑の中から

◎中学校太陽光発電システム整備工事について

【但木】太陽光パネルの設置場所を道路に面した学校入口付近としているが、適切な場所なのか伺います。

【答弁】パネルの高さが4m弱あり、人によっては景観が損なわれると感じる方がいるのかもしれませんが、最終的に中学校と協議のうえ決定した場所です。

◎自然災害が多発する中、本設備が地震や雷にどのくらい耐性があるのか伺います。

【答弁】耐性データを事前に調べましたが把握できておらず、先日震度5弱の地震があった千歳市に問い合わせ、設置された学校での被害はなかったとのこと。また、全国的に雷被害が発生した事実は承知しています。

【主な歳出】

◎悠林館に係る経費 215万円
・修繕料 215万円
・廊下照明取替工事 201万円
・客室シャワールーム撤去工事 133万円
・非常灯取替工事 385万円
・備品等購入費 239万円

議案質疑の中から

◎専決処分(悠林館に係る経費)について

【渡辺】以前の説明では、早期開設に向け必要最小限の小破修繕を行うと聞いていましたが、多額な経費となった経緯を伺います。

【答弁】当初は建物の躯体に係る小破修繕と考えていましたが、建物内の点検を進めるうちに消防法に係る非常灯や照明機器の取り替えが必要であることが新たに判明し、老朽化した厨房機器の更新など開設までに必要不可欠であることから工事費用等が増えました。

また、各客室に設置されているシャワールームは見栄えが悪く、今後の営業に必要なと判断し撤去します。

■令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 211万円が追加され、予算の総額が8億600万円になりました。

【主な歳入】
・その他繰越金 211万円

【主な歳入】
・令和5年度簡易水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入及び支出予算に645万円が追加され、収入予算の総額が6億8745万円に、支出予算の総額が7億4377万円になりました。

【主な歳入】
・他会計補助金 645万円
【主な歳出】
・佐呂間浄水場第2水源地下入弁修繕工事 539万円

■工事請負契約の締結
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

- ◎佐呂間知来テレビ中継局放送機器更新工事
①契約の方法 随意契約
②契約金額 5500万円
③工期 令和8年3月31日
④契約の相手方 札幌市北区北15条西2丁目 1番8号

■工事請負契約の締結
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

- ◎佐呂間テレビ中継局放送機器更新工事
①契約の方法 随意契約
②契約金額 5500万円
③工期 令和8年3月31日
④契約の相手方 札幌市北区北15条西2丁目 1番8号

株式会社 三新
代表取締役社長 児玉 悟



第2回定例会

・審議した議案③

■工事請負契約の締結
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

◎漁業集落排水施設機器更新工事（機械設備）

- ① 契約の方法 指名競争入札
- ② 契約金額 7700万円
- ③ 工期 令和6年3月8日
- ④ 契約の相手方

札幌市中央区北3条西3丁目1番地54
クボタ環境エンジニアリング株式会社
北海道支店
支店長 鎌田勝幸



■権利の放棄

水道料金の債務で、債務者本人の死亡及び全ての相続人の相続放棄のため、合計13件の簡易水道使用料債権の放棄を決定しました。

■損害賠償の額の決定

本年2月の除雪作業時の車両との接触事故に関する損害賠償額が決定しました。

・損害賠償額 21万6835円

■財産の取得

運行開始から10年以上経過するふれあいバスの車両本体の劣化状況等を考慮し、順次計画的に更新すべく、バス（富武士線）を購入しました。

- ① 取得する財産及び数量
◎ 中型バス 1台
(9列45人乗り)
- ② 取得価格 2112万円
- ③ 納入期限 令和6年2月29日
- ④ 取得の方法 随意契約
- ⑤ 売買の相手方

北見市中央三輪4丁目523番地1
東北道日野自動車株式会社
北見支店
取締役北見支店長 坂上和年



現在のふれあいバス（富武士線）

同意

農業委員16名の任命に同意

■農業委員の任命同意

農業委員として、次の方々の任命について同意しました。

- ◎ 共立 山口浩之氏
- ◎ 大成 青野英一郎氏
- ◎ 啓生 十亀正氏
- ◎ 栃木 千葉義則氏
- ◎ 川西 田村通啓氏
- ◎ 富丘 山越透氏
- ◎ 富丘 渡部洋氏
- ◎ 北 田中裕二氏
- ◎ 永代町 山田裕之氏
- ◎ 東 荒田由紀野氏
- ◎ 知来 青野誠氏
- ◎ 仁倉 平川智司氏
- ◎ 浜佐呂間 和泉茂樹氏
- ◎ 幌岩 齊藤浩明氏
- ◎ 富武士 大澤好幸氏
- ◎ 若里 橋本聡氏

いずれの方も任期については、令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間となります。

報告

■繰越明許費繰越計算書
令和4年度一般会計から、次の事業分が令和5年度に繰り越しになりました。

・水産競争力強化緊急施設整備事業 8億7851万円

■繰越明許費繰越計算書

令和4年度公共下水道特別会計から、次の事業分が令和5年度に繰り越しになりました。

・下水道管理センター設備改修工事 8470万円

■令和5年度第1回定期監査報告書

令和4年度会計の定期監査が5月10日から16日までの5日間実施され、その結果について監査委員から、適正に処理・運営されていたとの報告がありました。



第2回定例会

・審議した議案④
・町長行政報告

意見書

■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占めており、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進め、温室効果ガス排出量実質ゼロの目標達成に向け、伐採後の植林、長期間炭素を固定化するための木材利用の促進、木質バイオマスエネルギー利用促進など森林吸収源対策の推進が必要です。

よって、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の活用、防災・減災対策をさらに進め、ゼロカーボン北海道が実現できるように強く要望する意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣に提出しました。



町長行政報告(要旨)

■農作物の生育状況

この春は順調に雪解けが進み気温も高めに推移したことから、作物の播種・移植作業は、例年よりも早く順調に進み、秋撒き小麦については、コムギ萎縮病の発生が管内で増加していますが、追肥等の施用により改善が見られており、雨不足で草丈は低い状況ですが、農作物については、今後の安定した天候を願うところです。

飼料作物については、デントコーンの播種作業が順調に終わり、一番草の収穫が始まっていますが、雨不足の影響で草丈は低いものの生育が順調であり、今後の牧草収量に期待するところです。

■町営牧場の入牧状況

5月17日・20日両日が入牧が行われ、6月2日現在、3箇所の町営牧場で乳牛392頭が放牧されており、酪農経営の基本である健康で丈夫な牛の育成を図っていきます。



■漁業の状況

外海はたて稚貝放流については、5月17日から27日までの9日間の日程で終了し、7963万粒をB海区へ放流したとの報告を受けました。

ほたて稚貝採苗については、オホーツク海及びサロマ湖内の海水温が平年よりやや高く推移し、ラーバの出現が早く見られたため、5月7日頃より採苗器が投入され、その後順調に水温も上昇し始めたことから、ラーバの付着状況調査を始めていくところです。

マス稚魚については、管内の親魚確保数が前年対比16.9%であったことから、サロマ湖からの放流はできませんでした。

また、サケ稚魚の中間育成については、4月26日に稚魚200万尾を搬入、うち190万尾を3基の生簀で飼育したのち5月10日に放流し、残る10万尾については、佐呂間別川より放流を行い、4年後の回遊を期待しているところです。

外海はたて漁業の本年の漁獲目標は、本操業C海区で1万1000トンに設定し、6月1日から一隻28トン体制で操業が開始されています。

第3回定例会は9月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報9月号の折込みチラシをご覧ください。

